

令和2年度第1回南砺市児童館運営委員会議事録

1. 開催日時 令和2年6月25日(木) 午前10時00分～午前11時44分
2. 開催場所 城端児童館「さくらっこ」
3. 出席者 ○委員 12名
蟹野会長、蓑口副会長、辻委員、山崎委員、神本委員、大浦委員、片山委員、福田委員、森川委員、澤田委員、河合委員、俵委員
○事務局(教育部こども課) 4名
村上部長、溝口課長、荒井子育て支援係長、村井主事
○指定管理者(学校法人福光キリスト教学園) 2名
横山理事、佐々木児童館館長
○児童館 4名
城端児童館「さくらっこ」内山児童厚生員、井波児童館「きぼりっこ」新敷児童厚生員、福野児童センター「アルカス」前田放課後児童支援員、福光児童館「きつずらんど」上田児童厚生員
4. 欠席者 委員3名
中村委員、松本委員、溝口委員
5. 傍聴人数 0人
6. 議題 (1) 児童館の管理運営状況について
(2) 児童館の活動状況について
(3) その他

開会 午前9時55分

1 開会

(事務局) 本日はお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。時間前ですが皆さんお揃いですので、ただ今から令和2年度第1回児童館運営委員会を開催します。本委員会は「南砺市まちづくり基本条例」に基づき、議事録を公開しますので、ご了承願います。議事録作成の関係上、録音しております。マイクでの発言にご協力ください。

では、開会にあたり会長からご挨拶をお願いします。

2 挨拶

【会長】 皆さん、おはようございます。暑い日が続く中でコロナのこともあり、皆さん心身ともにお疲れのことと思います。特に今年は児童が通常通りに学校に行けないということで、その分児童館等の施設を中心として親身に対応くださったおかげで、無事6月の半ばを迎えております。この間、子どもたちのために尽くしていただきました皆さま方に心から感謝を申し上げます。今後も子どもたちに対してご指導ご鞭撻をお願いしながら、分からないことも多々あると思いますが、それは色々と相談をしな

がら対応していけるのではと思っております、今日はそのようなことも考えながら、この運営委員会が意義のあるものになることをお願いしてあいさつに代えたいと思います。本日はよろしく申し上げます。

(事務局) ありがとうございます。続きまして教育部長からご挨拶申し上げます。

(教育部長) おはようございます。委員の皆さまには、大変お忙しい中ご出席くださりありがとうございます。今ほど会長のご挨拶にもありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、児童館等の運営も休館とか縮小とか、そういうかたちで運営させていただきましたが、まだまだ不安は払拭された訳ではありません。今日は児童館の運営に携わる職員の皆さんにも来てもらっておりますが、本当に一生懸命やっただき助かっております。これからもコロナの影響が続くと思われまますので、そのことについてもご意見をいただければと思います。

それから子育て支援については、昨年10月に国の幼児教育・保育の無償化制度が始まり財源・財政的なことも含めて大きな変化があったわけですが、南砺市では、生まれてから、生まれる前も含めて、必要な時期に必要な支援が行き届くようにとの考え方で色々な事業に取り組んでいます。その中でこの児童館の事業も大切な役割を果たすものと思っております。本日は、現状等を報告いたしますので、今後のため忌憚のないご意見をいただければ幸いです。よろしくお願いたします。

(事務局) それでは会議に入る前に配布資料を確認いたします。(資料確認)

3 委員紹介

(事務局) それでは、次第に基づき会議を進めます。まず委員の皆さまのご紹介ですが、お手元に配付してあります委員名簿をもちまして紹介に代えさせていただきます。

今回、行政(教育関係機関)区分の委員として、前任の山河委員から俵委員に交代されています。本委員会の委員の任期は令和3年3月31日までとなっておりますので、よろしくお願いたします。

中村委員、松本委員、溝口委員が所用により欠席されておりますので、本日の出席委員は12名となります。

4 協議事項

【会長】協議事項に入ります。今日の会議は11時30分までを目処に進めさせていただきますので、円滑な進行にご協力願います。それでは、児童館の管理運営状況について事務局から説明をお願いします。

<(事務局) 令和2年度児童館・放課後児童クラブ等の体制、放課後児童クラブ等の平成31年度実績、令和2年度状況について説明>

【会長】ただいまの説明についてご質問ご意見がありましたらよろしくお願いたします。

【A委員】人件費で「さくらっこ」、「きぼりっこ」、「アルカス」、「きっずらんど」で差があると思いますが、利用児童数との関連などがあれば教えてください。

(指定管理者) 事業収支の人件費で「さくらっこ」、「きぼりっこ」と「アルカス」の差

が目立っています。職員は、児童館職員として勤務しながら、併設する施設である放課後児童クラブの支援員としても勤務するなど、同じ人が二つの役割を持っていることがあります。そうすると人件費も、同じ施設の枠の中で、放課後児童クラブの予算から支出する分と、児童館の人件費として支出する部分があります。予算的には、放課後児童クラブは委託費、児童館は指定管理費で運営しており、同じ人が二つの役割を持っている場合、同じ施設の枠の中で、まずは放課後児童クラブ分の予算で見て、そのあとで児童館分の数字を出しており、このような数字になっています。基本的に一人の人間が二つの役割を持っていることから、支出的にはこのようなかたちになっています。

【会長】 要は、福光の場合「きっずらんど」と放課後児童クラブ「きっずらんどクラブ」で同一人物がどちらの職員としてもやられているということですか。

(指定管理者) 同じ職員がやっております。

【会長】 それでプラスαのお金(人件費)が発生するということですか。

(事務局) 資料には児童館の収支しか記載してありませんが、別に放課後児童クラブの会計もあります。それとあわせて見ないと分かりにくいのですが、本日は児童館運営委員会ということで児童館の会計分しか示しておりませんが、放課後児童クラブの会計分も別途あるとご理解いただければと思います。

【会長】 子どもの数から見ると「きっずらんど」の人件費が突出しているように思われるのではないのでしょうか。

(指定管理者) 「きっずらんど」は開館時間が長く、朝から晩までの勤務体制ですので、他の児童館より人件費は多くなっております。

【B委員】 「きっずらんど」は朝から晩までで、人件費がかかることは分かりました。過去3年間の推移を見ても人件費が増えているのは、そういうことかとも思うのですが、「アルカス」の過去3年間の実績を見ますと人件費が乱高下しています。こちらの原因は何でしょうか。

(指定管理者) アルカスを含めて平成30年度までは指定管理独自の人件費で資金繰りをしておりまして。平成30年度になって余剰金も出なくなり、法人の方で負担しなくてはならない状況となり、令和元年度から南砺市の積算時給単価に準拠することとしました。平成30年度までは上がる一方でしたが、令和元年度には市の基準に準じたものになっています。

【B委員】 今までと同じお仕事にも関わらず人件費を下げられたということですか。

(指定管理者) 数字としては下がりました。

【B委員】 それこそコロナの関係で衛生管理とか色々とお仕事が増えているのに、時給・給料が下がっているということでしょうか。

(指定管理者) 利益を目指す企業ではありませんので、いただいたもの(指定管理料)の中で運営するのが原則ですから、市に準じるのが正しいのではないかとということで令和元年度はこのような実績になっております。あと、福光児童館の人件費が上がっているのは、館長手当や事務職員手当が大きく、このような数字になっています。

【会長】 そのような手当は他の館でも同様に取られていますか。

(指定管理者) 賃金に関しては4館とも同じ取り扱いにしております。

【A委員】 では、福光児童館「きっずらんど」は職員数が多いということですか。

(指定管理者) 朝から開館している所以勤務時間が長いということです。

【A委員】 利用人数とか施設の大きさに職員の数が決まっているということですか。

(指定管理者) 児童館は職員2人、放課後児童クラブにも2人を配置するという基本があり、その上で子どもの状況に応じて細かい調整を行っています。基本的には「児童館2人+放課後児童クラブ2人」という基本に則っています。

(事務局) 本日の資料には児童館の収支状況しか載っていないために分かりにくく誤解を招きやすい資料になっており大変申し訳なく思っております。ご心配いただいているのは、各児童館が利用人数等に応じてしっかり子どもを見守る体制になっているのかという部分かと思えます。別冊活動報告書の26ページ以降に各館の職員配置の記載があります。ページ上段には各館で最低限必要な人数配置を示しています。このほかに、利用人数や例えば「気になるお子さん」がいる場合、職員を加配して配置しています。児童館と放課後児童クラブで人件費がかかっていますが、放課後児童クラブの会計とあわせて見てもらえれば、利用人数に応じた人件費がかかっていることが分かりやすいかと思えます。

また、放課後児童クラブは国の補助対象事業になっていることから、優先的に放課後児童クラブ分の人員を多く配置するようにしており、児童センター「アルカス」にも必要な職員は配置しているのですが、児童館としては人件費が少なく見えているということがありますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

【会長】 よろしいでしょうか。ほかに何かご意見ご質問ありませんか。それでは、続きまして協議事項(2)の児童館の活動状況について説明願います。

< (事務局) 児童館の活動状況について説明 >

< (指定管理者) 令和元年度南砺市児童館活動報告について説明 >

【会長】 ありがとうございます。何かご意見ご質問がありましたらお願いします。

それでは、児童館も放課後児童クラブも新型コロナウイルスの関係で休館したり、受け入れを縮小したり、変則的になったことで、保護者は相当ストレスが溜まったのではないかと思うのですが、それに対する相談とか苦情とか、こういうことに悩んでいるとか、子どもたちではなく保護者の方からそういう声はありましたか。

(事務局) こども課内にある女性・こども相談室には、「子どもがずっと家にいるので兄弟げんかが絶えなくて困っている」とか「家にみんなで閉じこもっているのでストレスが溜まっている」というような電話相談が何件かありました。関連ですが、以前から関わっている要支援家庭へは最低月に1回程度、こども課の職員や相談員、あと高岡児童相談所の方も一緒に訪問し、困り事がないか話を伺うなどしております。

(指定管理者) 児童館が休館になったことで、今まで自由来館で利用されていた方から預かってほしいという声は何件か寄せられましたので、そういう方には放課後児童クラブの利用登録をしてもらうなどの対応をさせていただきました。あと、やむを得ない事情がある限りということが大前提で、各児童館で保護者と対面して色々と話を聞いて必要がある場合には預かり対応をさせてもらい、家庭での見守りに不安を持っておられる方の心配を解消できるような対応をさせていただきました。

【A委員】 小学校なら学校からの一斉メールが可能ですが、児童館を休館しますという際の連絡方法はどのようにされていたのでしょうか。

【副会長】 小学生には、学校経由で、児童館の休館や放課後児童クラブの受け入れ等についてメールと文書の両方で案内が出ていました。

【C委員】 令和元年度の実績なので新型コロナの影響は3月の1カ月分くらいにしか出ていなのかもしれないが、職員の方の月収とか、そういう部分に配慮する必要がある状況でしょうか。また、令和2年度はどのように考えておられるのでしょうか。

(事務局) 児童館の方は休館しておりましたが、職員には出勤してもらい出来ることをしてもらうなど、なるべく減収にならないよう配慮しました。

また、先ほどの連絡体制ですが、児童館と放課後児童クラブでの対応については、小中学校の校長会で情報提供・共有をさせてもらい、小学校については、ご理解ご協力をいただいて学校の一斉メール等で情報を発信していただきました。

前回の児童館運営委員会でも、アルカス付近での火災のこともあり、保護者への連絡体制が課題とのお話が出ていました。今回のコロナ対策でもそこが課題となっており、今年度の放課後児童クラブ利用登録のある児童の保護者へ連絡し、アドレスを教えてください、登録いただいた保護者には一斉にメールでお知らせが届けられるようにさせていただきました。

【会長】 気象関係、特に大雨の関係で基準が細かくなり、先日もいろいろな警報が出ていたのですが、それに対して子どもたちの受け入れとか、避難命令等の指示が出た時に児童館として「すぐに迎えに来てください」とか伝える体制は整っているのでしょうか。早いうちに被害想定等が分かれば対応し易いと思うのですが、先ほど火災の話も出ましたので確認させてください。

最近の気象は本当に分かりません。いつ何時被害が大きくなるかも分かりませんので、子どもたちと親御さんとの関係、そして施設としての親御さんへの引き渡し方法など、市として今後検討しておくべきかと思えます。

(事務局) 大雨や台風の場合ですと、前もって気象庁から予報が出ますので、学校が気

象条件によって早く放課される場合があるかと思えます。その場合は、児童館や放課後児童クラブも受け入れをせず、直ぐにおうちの方へ帰宅してもらう対応としております。その辺もしっかりと保護者に周知したいと思えます。

【会長】ほか何かございませんか。この機会ですから何でも聞いてください。なければ、(3)その他の方で資料6の説明をお願いします。

< (事務局) 福野児童センター「アルカス」大規模修繕工事について説明 >

【会長】2月にアルカスで運営委員会が開催された際、道路と施設の境界部分に仕切りが無く危ないとの指摘を受けておりましたが、こちらの図面では、柵が設置されることになっており、ある程度解消されると思われれます。不審者等の侵入も、ある程度防げるということでしょうか。

(事務局) 不審者の侵入防止にもある程度の効果が見込まれるかと思えますが、今回のフェンス設置の目的としては、児童が遊びに夢中になる中で施設外に出て行ってしまふことがあり、それを防ぐことを第一の目的としております。

【会長】ほかに何かご意見ご質問ございませんか。

【A委員】アルカスは人数が多いですね。園庭や周りの環境も良いのですが、児童が増えたことに対して、部屋を新たに作り足すとかそういうことは出来ないですね。

(事務局) 確かにアルカスは、たくさん子どもたちが利用しています。そういうことから放課後児童クラブの一つ「アルカスのびのびひろば」は、福野体育館に隣接するB&G海洋センターで開設しており、過密化は少し緩和されたと思っておりますが、まだまだ利用者が多い状況です。市全体としては公共施設再編計画もある中で、アルカス増築に関しては、教育委員会として一つの課題として捉えており、今後の課題として協議していきたいと考えております。

【C委員】この前の会議では、アルカスの大規模改修工事の期間は夏休み頃から始まると聞いていたと思えますが、工事はいつ始まっていつ頃終わる予定なのでしょうか。

(事務局) 7月に入札があり、外構工事の取り掛れる部分から早期に行います。施設内部の改修工事については施設として使えなくなる期間があるので、10月から11月くらいの冷暖房が必要ない頃に実施する予定です。工期としては7月から11月まで、およそ5カ月間を予定しております。

【会長】まだございませんでしょうか。それでは、これまでの中でもう一回聞いてみたいところなど、ありましたらお願いします。

(指定管理者) 指定管理を預かり児童館4館を運営いたしております。コロナのために、指導員の方々をはじめ、子どもたちの命を守るため、命をはって子どもたちを教育して下さった現場の職員に感謝を申し上げたいと思えます。今日も各館担当職員が来ておりますので、児童館に対する思いや令和元年度を振り返っての思いを一言ずつ述

べさせてもらえばと思います。

(児童館担当職員①) 今年はコロナが流行った特別な年だと思います。6月1日から学校も始まり、徐々にいつも通りの状態を取り戻しつつありますが、学校が始まったからと言っても、今までと同じようなやり方では、万が一コロナが拡大しても困りますので、徐々に様子を見ながら子どもたちの自由度の幅を広げていっている状況です。

勉強する時も席数を通常の半分に減らすなど対策を取っていますが、遊びの面では子どもたちはどうしても接触し、集まります。それは防ぎきれないことなので少し大目に見ながら、子どもたちに活動的に遊べる状況を作ってあげたいと思っています。早く通常の状態になれば良いなと思っています。

(児童館担当職員②) 経験したことの無いような未知の世界で、手探りで日々努力しております。消毒をしたり、子どもたちにはマスク着用の徹底などを呼び掛けたりしています。子どもたちは熱中症になる寸前まで汗を流して元気に頑張っていて、人数的には前ほどまでには達していませんが徐々に3分の2ほどまで増えてきて、元気な顔が私たちの支えにもなっています。

今後は暑い時期にもなりますし、熱中症対策や消毒など色々な対策をみんなで考えながら日々過ごしていきたいと思っています。

(児童館担当職員③) 児童館の休館中は20人程度の子どもたちが放課後児童クラブに来ていました。出来るだけお家で見守るようということで協力くださり、本当に申し訳ないくらいでした。

学校が始まって段々と利用者の数が増え、最近は毎日80~90人の子どもたちが放課後やって来ます。コロナ前は元気いっぱい遊びまわっていた子どもたちも90人もいる状況では、密になることから一人用の机を買い足して床いっぱい並べて番号を振り、「あなたは何番の机です。帰るまでここにいてね」というふうにしていて、本当にかわいそうくらいです。遊びはほとんどできず、以前は声が聞こえないくらいに元気に遊んでいたのですが、今は静かで同じアルカスとは思えないくらいです。アルカスは変わった形の建物で、入ってすぐに広いフロアがあり、四方に部屋が飛び出ている形で全部見渡せます。その部屋を全部使い、元々あった椅子や机、大きい机でも二人だけ、兄弟は一緒に使いましょうとか、最近は慣れてきたから兄弟喧嘩にならないように離すなど色々と考えて工夫しています。

手指の消毒はもちろん、おもちゃも毎回消毒し、マスクも保護者が替えのマスクをランドセルやカバンの中に準備してくださっています。子どもたちにとっては帰るまでの時間がとても長く感じられると思います。静かなことが良いということではないと本当に思います。前は毎日来られていたお子さんもコロナ以降全く顔を出されなくなったという方もおられます。それぞれ色々ありますが、まだまだ大変だなと思います。

(児童館担当職員④) 児童館は利用者が大分少ないです。いつも来ていた子どもたちに街で会った時に聞いたところ、公園やお友達と自転車で行き来して遊んでいるということで、児童館という閉鎖的な場所ではなく、安全で遊べるならそれも良いのかなと思っています。

児童館休館中も学童の数はとても少なく、皆さんご自宅で頑張ってお子さんと過ごしてくださっているのだなと痛感していました。この状態がいつまで続くのか不安ではありますが、児童館でも手洗いとマスク着用は厳重にして、いつも通り遊んでいます。こ

れからも近辺に感染者が出ていないからなどと気を緩めず、しっかりと引き締めて消毒などの対策に努めていきたいと思います。

【会長】ありがとうございました。本当に職員の皆さんには、子どもたちの命を守っていただいているということで感謝しかありません。これからもいろんな困難があるかと思いますが、そこは、地域の皆さんなどとも協力しながらやってけたら良い部分もあるのかと思います。

先生方は、まず子どもたちのことを第一に考えていただいておりますので、今後はどうしたら子どもたちが従来のように過ごせるのかも考えてもらっていると思いますので、それも地域の皆さんや教育委員会、こども課の皆さんと互いに手を取り合いながらやっていきたいと思っております。

先ほど触れられたように福光公園に沢山の人が来ています。高校生もいれば、小さな子ども、保育園児もいます。いろんな子がいますが、これまでとは違った方向性に行っていると感じる部分もありますので、そうではなく、従来の児童館、放課後児童クラブに早く戻れるように希望するしかありませんね。その間、職員の皆さんには本当にご苦労をおかけしますが、よろしく願います。ただ、職員の皆さんの健康にだけは十分気を付けていただきたいと思います。子どもたちの健康も大事ですが先生方の健康を、ご家庭の健康も含めて大事にさせていただければと思っております。

【D委員】今日初めて「さくらっこ」に参りました。玄関にはたくさんのプランターが置いてあって、どこを見ても掃除が行き届いていて良い環境だなと思いました。環境というのはゴミ一つ、花一つ、掲示物一つが子どもの感性を育む大事なものだと思います。どの児童館に行っても、そういう環境づくりをされていて本当にありがたいなと思います。

最後に各館の方からお話しいただいて、それぞれ今の大変な状況、それに対して工夫されていることなどをお聞きして大変有り難いなと思いました。これからもこの会議では各館での工夫とか運営上の課題というものもあると思いますので、そういうことを共有する今のような時間をとっていただけたらと思いました。

【会長】まだもう少し時間がございます。これまで発言されていない委員さん方からご意見ご質問ありませんでしょうか。

【E委員】児童館の担当職員の皆さんをはじめ、所管課の皆さんの大変さ、現状を知るにつけ、子どもたちを放課後に出す立場として、しっかりと子どもたちの安心安全を確認して出すということも大事なかなと思っております。

よく連絡体制ということが挙げられるのですが、保護者の方は「今日は放課後児童クラブを利用する」ということを直接クラブの方に伝えて、学校には中々伝わっておらず、「今日はどっちなの？」と聞いても子どもたちは良く分かっていないということがあります。

また、放課後児童クラブの方に連れて行くと「いや、聞いていません」ということで、下校が少し遅れてしまうということもありますので、そういった連絡体制が上手くできれば良いかなと思いますし、保護者はどちらかに言えば伝わっているだろうと思われていることが無きにしもあらずで、そういった連絡体制をしっかりとって、子どもたちが迷わない、安心して活動できるような運営ができれば良いと思いました。

【副会長】今ほどの連絡体制についてですが、福野小学校ですと、子どもの連絡袋に「今日はアルカスに行きます」とか「バスに乗って帰ります」とか、今までなら制服のポケットに白ならアルカス、黄色なら自宅というかたちでそれが分かるカードを入れていました。今は運動服登校なので、連絡袋にそのカードを入れて、先生がそれを確認されています。

また、放課後児童クラブの場合、毎月利用予定を届け出ていると思います。うちには、1年生が2人いるのですが間違えて帰ったという事は無いと思っています。

それと、休校中は極力家庭での見守りをお願いされていて、皆さん協力されていたと思うのですが、中には、仕事を休まれたり、半日勤務にされたり、親戚の方をお願いされたり、各家庭で色々に対応されていて皆さん、子どものことや児童館のことを思って「快く」と表向きは言いつつ、やはり何人か「どうしよう、働けない」という声も聞かれました。そういう声があったということも頭の片隅に置いていただきたい。気持ち良く施設を利用されている方が多いとは思いますが、保護者として困っておられた方がいたというのもまた事実かと思えます。

【F委員】新型コロナ感染症の影響で私たちの生活スタイル自体が変わってきているという印象があります。在宅ワークなど色々なことがあります。これをチャンスと捉えて運営方法を見直すとか、「今まで通りで良い」というばかりでなく、既に取り組んでおられると思うのですが、そういうことを変える良いキッカケだとも思いますので、これからもどうぞよろしく願いいたします。

【G委員】今回のコロナの対策は事務局も児童館も大変だったと思います。同様に保護者の方も「行かなければ良いのかな」ということで色々な対策をされて、大変と言いながらも皆さんで対応できたのだと思います。

それと今回の資料について、決算報告とか収支報告とか事業とか細かく書いてあるのですが、大まかな年間の行事予定とか、大きな事業、ここまで細かい事業でなくても良いので、移動児童館や児童館まつりなどの大きな事業は、事前に地域の方々にもお知らせしておいたら予定が立てやすいのかなと思えました。

【H委員】児童館の職員の方々が大変なご苦勞をされていると分かりました。資料を通してそういうことが確認できて安心したというか、ありがたいなと思えました。

コロナの影響で保護者の方と施設に勤める職員の方と、色々頭を働かせ良い方向に向かおうと努力をされ、保護者の方にも協力をいただき、心を痛めながら乗り越えてこられたと思うのですが、やはりその家庭によって「はい」と素直に言っただけの家庭と、核家族で預けることに苦勞をされることもあったと思います。このような初めての経験の中で、色々あり、今後もまだ続くのかもしれませんが、それぞれがアイデアを出し合って何とか乗り越えたら良いなと思います。今後も大変かと思いますが、またよろしく願いいたします。ありがとうございました。

(児童館担当職員①) 先ほどの連絡体制の件ですが、城端児童館の場合は基本的に連絡帳に「今日は児童館に行きます」とか「今日はバスで帰ります」などと書いてもらうようにしています。特に1年生のお子さんの場合、個人差があり、お母さんに朝言われた事を覚えていられる子と、明日の事なのか今日の事なのか勘違いしてしまう子もいますので、もし心配であればパスケースのようなものをランドセルに取り付けて「何月何日児童館、迎え15時」とか書いてもらえたら職員もパッと見て確認できるの

で、慣れるまでそういうものを使ってみたら良いかもしれないとお願いしてあります。

【会長】 まだまだ意見があるかもしれませんが、お約束の時間が過ぎました。これで審議を終了したいと思います。もし何か質問や意見があれば、こども課にご連絡いただければと思いますので、その点またよろしくお願いします。

(事務局) ありがとうございます。最後に閉会の言葉を蓑口副会長からお願いします。

5 閉会

【副会長】 今日は皆さんお疲れ様でした。

今ほども皆さんからありましたように、2月末に突然休校になり、それから卒業式や入学式は出来たのですが、約3カ月間子どもたちには経験したことの無い休校になりました。それで6月から学校も児童館も再開して子どもたちも元気に通っているふうには見えますが、果たして3カ月間こんな非日常的な生活をした子どもたちが、すんなり元の日常に戻れているのか。特に1年生は幼稚園や保育園を卒園してから2カ月間宙ぶらりんでいた訳です。学校ってどんなもの？勉強って何？ということが分からないまま過ごして、さあ家で課題をしてきてください、次に進みますよ、と学校で言われて、学校の先生方も遅れた分を取り戻さなくてはならないし、子どもたちの心のケアにも配慮されていると思うのですが、本当にそうなのかな、特に1年生は大丈夫かな、小さな体で心も身体もストレスを感じているのではないかなと思います。

児童館の先生方にはコロナ対策もしてもらい、大変な苦勞をされているのは、私も孫が毎日利用させてもらっているので良く分かります。とても分かります。でも、子どもたちの小さな心の動きや言動を受け止めていただいて、子どもが健康に健全に育つように行動していただけたら良いかなと思います。そして私たちも微力ではありますが、そのお手伝いが出来たら良いなと思っています。今日は本当にどうもお疲れ様でした。

(事務局) ありがとうございます。これをもちまして、児童館運営委員会を閉会いたします。どうもありがとうございました。

閉会 午前 11 時 44 分